

ISO14001 内部環境監査を実施しました

8月31日（月）～9月2日（水）に ISO14001 内部環境監査を実施しました。

内部環境監査は、年に一度 ISO14001 に基づく環境マネジメントシステム（EMS）が正しく運用されているかという視点に加え、有効に機能しているかを確認するために行います。

監査は部局の環境推進リーダーが中心となって行いますが、連携開設科目の環境講義「マネジメント論」を履修している岐阜大学生・名古屋大学生、本学有志の学生も参加しています。学生監査員は事前に外部講師及び本学の教員より研修を受け、ISO14001 の規格及び監査における着眼点や不適合事項の特定など監査の手法について学び、監査チームごとにチェックリストを作成して監査に臨みます。

今年度は 20 名の学生が職員とともに監査に参加しました。学生からは「節電やエアコンの温度設定を呼びかける掲示があり各々の環境意識に働きかけていた」「1 時間ごとの使用電力がホームページで確認でき、電力の見える化が実施されていた」など良いところを含め、多くの意見が寄せられました。全体として不適合事項はありませんでしたが、改善の機会となる意見が 6 件あったため、対応していきます。

監査に参加した学生からは「環境マネジメントシステムと岐阜大学における環境への取り組みの理解につながった」「岐阜大学の安全対策と環境対策の具体例を知ることができ、大学への信頼感が強くなった」などの感想が寄せられました。

【内部環境監査の様子】

